



こども家庭センター「ハッこ」

小さい赤ちゃんから幼児まで五感をたくさん刺激することができ「センサリーボトル」という玩具をご存じですか？

今回はそんなセンサリーボトルの作り方をご紹介します。材料は百円ショップで揃うのでおうちで簡単に作ることができますよ♪

【材料】

★お好みのビーズやラメ、スパンコールなど（ペットボトルの中に入れます）

★小さめの空きペットボトル

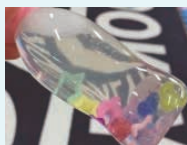
★洗濯のり

★マスキングテープ

【道具】

★はさみ

★接着剤



① ペットボトルの6分目くらいまで洗濯のりを入れます。（ゆっくり動く様子を楽しむなら多め、早い動きにしたいなら少なめに入れます）

② ビーズやラメ、スパンコールなどをボトルに入れます。

③ 水をペットボトルの飲み口ギリギリのところまで入れます。（湯冷ましだと◎）

④ 中身が完成したら、ペットボトルのキャップの内側に接着剤を付けて蓋をします。

（ふった時に中身が出ないように、

しっかりと固定しましょう。）

⑤ 最後に蓋の周りにマスキングテープを貼ります。中身をよくふつて、水と洗濯のりが混ざったら…完成！

陽の光に当たるとキラキラしたり、かたむけると中のビーズたちがゆらゆらダンスをしているみたい☆
床に落としたり転がしたりすると、どんな動きをするのかな？

子どもたちはいろんなことを試し始め、どんどん夢中になっていきます。

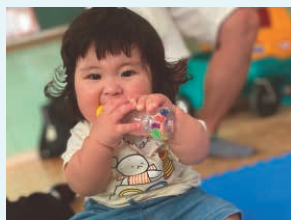


また、センサリーボトルには、見ているだけで心が落ち着く効果があると言われています。お子さんだけでなく、大人の方にとっても心安らぐアイテムになるかもしれませんね。

おうち時間が増える梅雨の時期、みなさんもぜひオリジナルセンサリーボトルを作ってみてはいかがでしょうか？

○お問い合わせ

ごか西児童館
(84) 2321



本を読もう！図書室へ行こう！

○中央公民館図書室

[火曜日～金曜日] 午前9時～午後8時

[土・日曜日・祝祭日] 午前9時～午後5時

月曜日休館（祝日の場合、翌日休館）



カフネ

阿部暁子／著
〔講談社〕

2025年本屋大賞受賞作。最愛の弟を亡くした薫子と、弟の元恋人で料理人のせつなが、家事代行サービス「カフネ」での活動を通して、「食」を介して互いに心の距離を縮めていく物語。



C線上のアリア

湊かなえ／著
〔朝日新聞出版〕

育った家がごみ屋敷となり果て、久しぶりに戻った美佐。家を片づけていく過程で金庫を発見する。そこからひもとかれる、家族にさえ言えなかった叔母の秘密とは……。担い手たちの心の声が響く介護ミステリ。



大ピンチずかん3

鈴木のりたけ／著
〔小学館〕

世の中のさまざまな大ピンチを、レベルと今回初登場の「うっかりメーター」で表し、レベルの小さいものから順番に紹介する。大ピンチ調査や大ピンチを乗り越える方法など、知りたい情報も新たな切り口で掲載。

○お問い合わせ 教育委員会 生涯学習係 ☎(84)1460(直通)